

大潟村「ワールド・エコノ・ムーブ」

# 秋田工高

鉛蓄電池部門  
ジュニアクラス

# V

電気自動車の省エネレース期していた。

「ワールド・エコノ・ムーブ」村などでつくる組織委員会本戦が8日、大潟村のソーラの主催。同じ容量のバッテリースポーツラインで開かれた。昨年は新型コロナウイルスの影響で中止しており、2年ぶりの開催。例年は5月の9チーム、高校生などが参加しているが、感染拡大を受けて延



ジュニアクラスで大会ぶりの回目を頂点に立った秋田工業高校のメンバー

維持できるよう努めたのが良かった」と喜んだ。

ジュニアクラスでは、秋田工業高校が2大会ぶりの回目の頂点に立った。オープンクラスも含めた総合記録でも過去最高の4位に食い込み、キヤブテンでドライバーも務めた3年の齊藤悠貴さん(18)「メンバーの準備、サポートを受けながら走り方ができた」と笑顔を見せた。

この日は入門編の「ワールド・エコノ・ムーブ・ライト」も開催。3チームが出場した。(藤原剣)

上位入賞チームと、県勢の結果は次の通り。

- 【鉛蓄電池部門】▽オープンクラス ①東郷アヒルエコパレーシング(愛知県)②東海大学チャレンジセンター(神奈川県)③チーム「ゴヨシヨット」ミツバ(群馬県)
- ④秋田高専エコレース部▽ジュニアクラス ①秋田工業高校②盛岡工業高校自動車部(岩手県)③同④男鹿工業高校
- 【ワールド・エコノ・ムーブ・ライト】①東海大学チャレンジセンター②小野塚レーシングZ(群馬県)③Team AKI44(秋田市)